

# 開発現場への形式仕様記述 展開手法の提案

日本電気株式会社

大橋 充幸

m-oohashi@ig.jp.nec.com

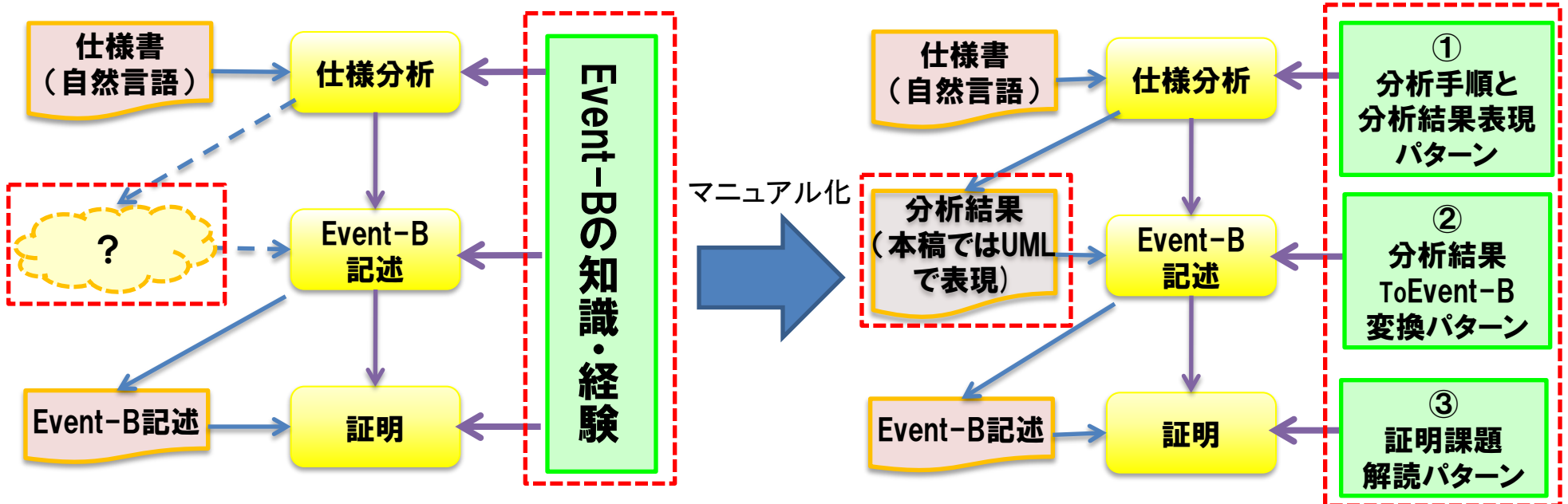
## 開発における問題点

形式手法はソフトウェア開発において品質確保に向けた有効な手段として認められている。しかし欧米諸国と比べ日本国内では「技術者の育成が難しい」といった課題が普及に向けた高い敷居となっている。

## 手法・ツールの適用による解決

形式手法Event-Bの知識・経験がない開発者が、Event-Bを活用可能とするために、作業手順をマニュアル化し、未経験者による評価を実施した。結果、未経験者でも一部技術であるがEvent-B活用は可能と判明。経験者監督のもと適用することで、現場活用に有効であるという可能性を示すことができた。

## 作業のマニュアル化概要



作業のIN/OUTに一部不明な要素あり  
作業には知識や経験が必要

作業のIN/OUTのデータを定義  
各作業のIN/OUTを変換する手順・パターンを提供

## 各作業の流れ

